

学校教育目標具現化の重点

平成30年度 福岡市立三筑中学校 学校経営方針

学校教育目標

日本国憲法
教育基本法
新しいふくおかの
教育計画
学校教育指導の重点
人権教育に関する
法規等

**基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志をもち、
新しい時代を生き抜くための力をもった、
心豊かにたくましく生きる子どもの育成**

国民・市民・地域
保護者の期待

めざす教師像

- 教育者として、情熱と使命感をもち、愛情深く生徒に接する教師
- 教育のプロとしての自覚をもち、常に自己研鑽する教師
- 参画意識をもち、自ら学校をよくしようと行動する教師
- 自信と誇りをもち、生徒・保護者・地域から信頼される教師

めざす生徒像

- 自分を大切にするとともに、相手も大切にできる心豊かな生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いた生徒
- わかる喜びを味わい、真剣に学習する生徒
- 心と体を鍛え、たくましく生きる力をもつ生徒
- 自信と誇りをもち、自分の進路を切り開くことができる生徒

めざす学校像

- 人間尊重の精神にたち、生徒・教職員が互いに認め合い、のびのびと元気に生活できる学校
- 生徒・教職員が学校に自信と誇りをもち学習の場、生活の場、行事や部活動で輝ける学校
- 保護者、地域に愛され、信頼され、地域と共に伸びて行く学校

校訓：創造・錬磨・礼節

平成30年度の重点

- 確かな学力の向上・進路保障に向けた「わかる授業」づくりの実現(校内研究授業の充実)
- 三筑中学校3つの合い言葉(あいさつ・掃除・勉強)の推進
- 豊かな心とコミュニケーション能力を育む生徒指導の充実(問題解決力のある集団づくり)
- 確かな人権教育と不登校を生まない指導の推進(特別支援教育の充実・組織的な生徒指導・QUテストの活用)

教育課題：たくましく生きる子どもの育成

経営課題：信頼される学校づくりの推進

(1) 学力の向上

- ①授業研究等の研修を通して授業をかえる(わかる授業の実践)
 - 授業改善の3つのポイントを踏まえた授業づくり
 - ALやICTを活用した授業の実践
- ②生徒の学びの基礎を確立する
 - 「身構え」「物構え」「心構え」の徹底 授業規律・宿題の工夫・提出物の徹底
- ③補充学習・家庭学習の実施と充実(放課後の時間・長期休業の活用)

(2) 規律ある落ち着いた校風

- ①基本的な生活習慣の確立
 - 生徒指導方針のもと全職員の共通理解、共通実践
- ②安心・安全な学校づくり
 - 教育相談体制の構築(SC・SSWの活用、早めの家庭訪問・QUテストの活用)
 - 規範意識の醸成(道徳・人間関係づくりの学び)
 - 組織的な指導体制の確立(生徒指導・不登校対応・特別支援教育)
 - 学校環境の整備(学校掲示物の工夫・清掃徹底・部活動場所の整美・花や緑のある学校づくり)
- ③すべての基盤は高い人権意識
 - 教育活動全体を通して豊かな人権感覚と実践力を育成する(道徳・集中人権学習・特別支援教育・SST等)

(3) 生徒会活動の充実

- ①生徒会役員会・専門委員会の活性化
 - 委員会活動を通してリーダー育成に努める
 - 各専門委員会担当教員と生徒会役員の連携
 - 生徒会役員→各クラス代表(委員)→各学級の縦の連携(学校全体の取組)
- ②学校行事の内容の精選・深化
 - 生徒が前面に立つて行う活動(実行委員会の活用)
 - 行事で感動できるしくみの工夫 行事の評価と改善(PDCAサイクル)
- ③部活動で豊かな中学校生活を味わわせる
 - 部長会・部活動生集会の効果的な活用

(1) 支え、励まし、高めあう教職員集団

- ①学校は一枚岩 課題を共有し、支持的風土に支えられた厳しさを持つ集団
- ②計画的な校内研修の実施(教職員相互の資質向上に努める)
- ③OJTによる若手職員(新採含)の育成
- ④個の力(授業力・生徒指導力・人権感覚)×組織の力(学年組織、分掌組織部活顧問団)=無限の力

(2) 機動性があり、柔軟な学校運営

- ①学校の教育課題・教育ビジョンの共有を図る
- ②主任・主事を中心とした一貫性のある教育活動を実践する
- ③報告・連絡・相談を徹底する
- ④特支教育コーディネーターを中心とした校内支援委員会の充実を図る
- ⑤綱紀の粛正・防災・安全管理・個人情報等に係るマニュアルの整備と研修
- ⑥学校危機に対応できる体制の構築に努める(安心安全メール配信等含)

(3) 小学校・家庭・地域と連携した教育活動

- ①学校評価・外部評価などの結果説明と改善案の提示
- ②計画的な授業公開・参観の推進
- ③保護者・地域を巻き込んだ教育活動の推進
 - 地域行事への積極的な参加、地域に愛される学校づくり
 - PTA・青育連の協力を得、子どもを見守りたい、活動させたい活動の展開
- ④学校・学年・学級各種通信の発行、学校HPの充実で信頼を培う
- ⑤中学校ブロック教育計画の実践 小・中連携は信頼と期待の上に成立
- ⑥進路学習での保護者啓発

(4) 効果的な教育活動を創造する各分掌の具体的な運営計画の作成と実践(PDCAサイクルで新たな価値を生み出す)

